

6月イベント情報

だっこのおはなし会

0歳からの乳幼児向けのおはなし会を行います。

日時 ①6月6日(木) ②6月20日(木) ③6月27日(木)
いずれも午前10時30分～

場所 ①②3階図書館おはなし広場
③古北にじいろ会館 図書・学習室

朗読者 図書館スタッフ
対象者 乳幼児

子ども向けアニメ上映会

上映作品 「うっかりペネロペ」 うたおうあそぼう編

内容 キュートでかわいいコアラの女の子ペネロペの
好奇心いっぱいな日常のお話です。

日時 6月22日(土) 午後2時～

場所 3階図書館イベントホール

対象者 幼児・小学生とその保護者

定員 40人(当日先着順)

おはなし会 with 工作教室

内容 図書館スタッフによるおはなし会と簡単な工作をします。

日時 6月23日(日) 午後3時～

場所 古北にじいろ会館 集会室

朗読者 図書館スタッフ

対象者 幼児・小学校低学年

JAZZ in LIBRARY

内容 ジャズカルテット(ピアノ、ギター、ベース、ドラム)

によるライブを行います。

音楽をテーマにした絵本の読み聞かせもあります。

日時 6月23日(日) 午後5時～

場所 3階図書館イベントホール

演奏者 MIカルテット

定員 50人(当日先着順)

英語でのおはなし会

内容 英語の絵本の読み聞かせとゲームを行います。

日時 6月29日(土) 午後3時30分～

場所 3階図書館おはなし広場

朗読者 ティンカーベル

対象者 幼児・小学生

生け花アレンジ教室～テーブルの花～

内容 生花でテーブルの飾りを作ります。

日時 6月30日(日) 午前10時～

場所 4階図書館グループ学習室

講師 川瀬勝久・安藤仁基(池坊生け花講師)

対象者 18歳以上

定員 10人(抽選。当選者のみはがきを発送します。)

料金 1,000円(当日集金)

持ち物 はさみ

申込 6月10日(月)～17日(月)に電話または直接図書館へ。

みんなでブックトーク

テーマ 「スランプの時 読みたい本」

内容 挫けそうになったとき、心が折れてしまったとき
私を立ち上がらせた本を紹介しあいます。

日時 6月9日(日) 午後2時～

場所 4階図書館グループ学習室

運営 ボランティアサークル江南ブッククラブ

対象者 18歳以上

定員 10人(当日先着順)

絵本を楽しむ会

テーマ 「かがくいひろし」特集

日時 6月15日(土) 午前10時～

場所 4階図書館グループ学習室

運営 江南あおむしの会

対象者 18歳以上

定員 10人(当日先着順)

耳で楽しむ読書体験！ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。

日時 6月15日(土) 午後3時～

場所 3階図書館イベントホール

語り手 ボランティアサークル江南おはなしのろうそく

対象者 5歳から(大人も参加可)

読み聞かせサポーター養成講座

内容 読み聞かせの意義やノウハウを学びます。

日時 6月16日(日) 午前10時～

場所 3階図書館イベントホール

講師 久原幸子(児童図書相談士)

対象者 受講後、サポーターとして活動いただける方

定員 20人(抽選。当選者のみはがきを発送します。)

申込 6月1日(土)～8日(土)に電話または直接図書館へ。

手づくりのおはなし会

内容 絵本の読み聞かせと簡単なおりがみ工作をします。

日時 6月16日(日) 午後3時～

場所 3階図書館おはなし広場

講師 図書館スタッフ

対象者 幼児・小学校低学年

特集

江南市制70周年

『江南市』はじまりと名前の由来／江南市のあゆみ

今月のおすすめ本特集

おうちで カフェ気分を味わえる本

6月の図書館イベント情報

ミニコーナー
噂の街ガチャ
やってみました!



音楽寺のあじさい
(村久野町寺町)

写真：江南市観光協会より

図書館からのお知らせ

- 館内整理のため、毎月第2・第4木曜日がお休みになります。
6月は13日(木)・27日(木)です。
※学習室はご利用いただけます。休館日のご利用時間は9:30～17:30です。
- 本は大切に扱ってくださいますようお願いいたします。
破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。
※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。
- DVD等視聴覚資料の取扱いは慎重をお願いいたします。
弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。

ほっ てい



布袋弁の図書館情報誌

2024年

6月

江南市立図書館



江南市のあゆみ

- 昭和29年
1954年 ● 江南市誕生
古知野町、布袋町、
宮田町、草井村の4町
村は県内19番目の市
として市制を施行
- 昭和30年
1955年 ● 江南市章制定
「広報江南」第1号発行
- 昭和34年
1959年 ● 伊勢湾台風襲来、
大被害を受ける
- 昭和37年
1962年 ● 市庁舎竣工
- 昭和40年
1965年 ● 消防庁舎完成
- 昭和44年
1969年 ● 愛岐大橋開通
- 昭和47年
1972年 ● 第1回「江南藤まつり」
開催
- 昭和48年
1973年 ● 市の木に「くろがねもち」、
市の花に「ふじ」を決定
- 昭和50年
1975年 ● 江南商工会議所設立
- 昭和51年
1976年 ● 市立図書館開館
第1回「江南七夕まつり」
開催
- 昭和56年
1981年 ● 古知野駅を江南駅に改称
- 昭和61年
1986年 ● 新消防庁舎竣工
- 平成6年
1994年 ● すいとぴあ江南竣工
- 平成12年
2000年 ● 第1回「嫁見まつり」開催
- 平成13年
2001年 ● 第1回「江南市五条川桜
祭り」開催
- 平成15年
2003年 ● 人口10万人達成
- 平成19年
2007年 ● フラワーパーク江南開園
- 平成26年
2014年 ● 「江南市防災センター」
竣工
- 令和5年
2023年 ● toko*toko*labo 開館
(江南市布袋駅東複合公共施設)

参考：『市勢要覧 '14』
江南市市長公室秘書人事課／編
江南市／出版

『江南市』はじまりと名前の由来

昭和29年(1954年)古知野町、草井村、宮田町の三カ町村が合併申請書を愛知県知事に提出しました。三カ町村は認可を確信していましたが、市としての条件が弱いとして却下されてしまいます。失望と打撃は大きかったようですが、諦めず布袋町を加え、四町村合併として話し合いを重ねました。話し合いは難航しながらも、ついに6月1日に市として発足することが決まります。

しかし、今度は新市名がどうしても決まりません。そこで白羽の矢が立ったのが当時の県知事である桑原知事でした。布袋に桑畑が多かったことから「桑」の一字を、古知野という地名から「野」の一字を取り桑野市という案を考えましたが、桑名市と似ているので間違えやすいと指摘を受けこれを却下。木曾川という立派な川を控えている市…とさらに考えているうちに杜甫の詩「江南逢李龜年(江南にて李龜年に逢う)」を思い出したのだそうです。そこから日本の代表的な川のひとつである木曾川を「江」と呼び、その南にあるということで「江南」としました。そして晴れて1954年6月1日に江南市の市制はスタートを切ったのです。

参考：『江南市史 本文編』
江南市史編纂委員会／編集
江南市／出版

上記で紹介した詩は杜甫の代表的な詩の一つです。込められた想いや背景を知るとより江南という市名に愛着が増すかもしれません。図書館にて貸出も行っていきますのでこの機会に読んでみてはいかがでしょうか？



『杜甫詩選』
杜甫／著
黒川洋一／編
岩波書店
B921

噂の街ガチャ やってみました！



街ガチャ in 江南
アクリルキーホルダー
全10種類
1回300円

市制70周年を記念して作られた街ガチャが4月15日から市内各所に設置されています。(現在品切れ中)toko*toko*labo内1階地域交流センター前にも設置されていたのでスタッフが挑戦！狙いはもちろん図書館がある「toko*toko*labo」です。



←3回挑戦しましたが、お目当ては出せず…！
また挑戦したいです！
もし見つけたら皆さんも回してみてくださいね。

おうちでカフェ気分を味わえる本



雨が続きやすく出かけるのが億劫になりがちなこの季節。
おうちにいながら素敵なカフェにいる雰囲気味わえる小説を紹介します。



『木曜日にはココアを』
青山美智子／著
宝島社
B913ア

川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」。そのカフェで出された一杯のココアから始まり、東京とシドニーをつないでいく12色のストーリー。卵焼きを作る、ココアを頼む、ネイルを落とし忘れる…。小さな出来事がつながって、最後はひとりの命を救う。あなたの心も救われるやさしい物語。



『かもめ食堂』
群ようこ／著
幻冬舎
913ム

ヘルシンキにあるかもめ食堂の店主は日本人女性・サチエ。いつもがらがないその店に訳ありげな二人の日本人女性がやってきて……。普通だけのおかしい人々が織りなす、幸福な物語。



『マカン・マラン』
古内一絵／著
中央公論新社
913フ

ある町に元超エリートのイケメン、そして今はドラッグクイーンのシャールが営むお店がある。様々な悩みを持つ客に、シャールが響く料理とは？マカン・マランシリーズ第一作目。おいしい料理と優しい言葉は、あなたにも、きっと効く。



『ときどき旅に出るカフェ』
近藤史恵／著
双葉社
913コ

氷野照明に勤める奈良瑛子が近所で見つけたのはカフェ・ルーズという小さな喫茶店。そこを一人で切り盛りしているのは、かつての同僚・葛井円だった。会社で起こる小さな事件、日々の生活の中でもややもやすること、そして店主円の秘密——世界の食べ物たちが解決のカギとなっていく。読めば心も満たされる“おいしい”連作短編集。



小説を読むときに美味しいコーヒーとお菓子があったら、もっとカフェ気分を味わえるはず。初心者でも大丈夫。「おうちカフェ」気分を盛り上げてくれる本を紹介します。



『世界のおやつ』
鈴木文／著
パイインターナショナル
596.65

おうちにいながらおやつ旅行へ！新感覚のレシピブック
アジア・中東・アフリカ・アメリカ・ヨーロッパなど…
世界各国に伝わるおやつ100品を、おうちで作れるレシピとともに紹介します。見て、作って楽しめる1冊です。



『世界一のバリスタが書いた
コーヒー1年生の本』
井崎英典／著
宝島社
596.7イ

専用の道具が必要？ブラックで飲まないダメ？
——いえいえ、そんなことはありません！
この本を読んであなたも「自分好みの最高の一杯」を淹れてみませんか？コーヒーの「匠」による世界一やさしいコーヒー入門書です。